

令和4年度 第61回福島県芸術祭参加行事一覧

No1

部門	番号	行事名	期日	会場	実績	主催者	内容等
音	1	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第60回「邦楽の祭典」	8月28日	キョウワグループ・ テルサホール	出演者数 134名 来場者数 215名	福島市	3年ぶりの開催となった。福島市文連協に加盟する邦楽愛好団体が一堂に会し、日ごろの練習成果を発表した。
	2	第7回福島県南混声合唱祭	9月4日	須賀川市文化センター	出演者数 96名 来場者数 150名	福島県南混声 合唱連盟	来賓の須賀川市長の祝辞で開会。4団体それぞれ発表、最後は合同合唱を披露した。コロナ禍の運営で難局があったが無事に開催できた。
	3	第46回県北おかあさん合唱祭	9月11日	伊達市ふるさと会館	出演者数 253名 来場者数 268名	県北おかあさん 合唱連絡協議会	コロナ禍の影響で5団体欠場15団体が練習の成果を発表し、講師より講評をいただき練習の励みとした。感染防止のため無観客で開催に至った。
	4	第40回 福島県マーチングフェスティバル	9月19日	福島県営あづま総合 体育館 メインアリーナ	出演者数 800名 来場者数 2848名	福島県吹奏楽連盟	マーチングバンド・パトナーワリング東北大会出場をかけた13団体が成果を発表した。審査の結果6団体が県代表に決定した。
	5	令和4年度 福島岳風会吟道大会	9月29日	ふくしん夢の音楽堂	出演者数 522名 来場者数 600名	福島岳風会	第1部 支部発表吟、第2部 支部対抗吟合吟コンクール(5人立)、第3部 構成吟、第4部 模範吟詠、第5部 役員吟詠。席上昇段者に許證授与。
	6	第47回「吟と舞」のつどい	9月30日	郡山市公会堂	出演者数 40名 来場者数 20名	静山流静褒会	令和4年度全国剣詩舞コンクール東北大会入賞者演奏、特別企画「花に舞う」など吟と舞いを披露。コロナ禍で会員のみのおさらい会とした。
	7	第2回 荒井一成テノール独唱会	10月1日	けんしん 郡山文化センター	出演者数 2名 来場者数 251名	みんなで作る音楽会	フランス歌曲より「フォーレ、ショーン」・日本歌曲より「山田耕柞、團伊玖磨」の作品を取り上げでの独唱会。珠石の数々を楽しんで頂いた。
	8	第45回 全日本フォルクローレ フェスティバル コスキン・エン・ハボン2022	10月8日～ 10月9日	川俣町中央公民館	出演者数 500名 来場者数 3000名	ノルテ・ハボン	全国各地から出場グループが集まり、様々な踊りや演奏を披露した。コロナ禍で休止していた4年分の想いを演奏に乗せ来場者も楽しんだ。
	9	あじさいの会・三味線・舞踊・ 歌謡曲合同発表大会	10月9日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 68名 来場者数 230名	いわき三味線の会	昨年はコロナの影響で来場者はほとんど無く寂しい発表会だったが、予断を許さない状況の中、230名もの来場者があり盛会だった。
	10	いわき三曲連盟演奏会	10月23日	いわき市文化センター	出演者数 65名 来場者数 100名	福島県三曲連盟 いわき支部	箏、三弦、尺八の合奏
	11	第33回女声合唱の祭典	10月29日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 110名 来場者数 200名	いわき市 女声合唱連盟	連盟加入7団体120名が集いコンサートを開催し、会員相互の親睦と合唱音楽の普及向上をもっていわき市音楽文化の発展に寄与。
	12	第26回しらかわ音楽の祭典	11月5日	白河文化交流館コミネス	出演者数 700名 来場者数 1000名	しらかわ音楽の祭典 実行委員会	白河市・県南地域の音楽文化の振興を図るため音楽の祭典を開催。市内小中高等学校の児童・生徒及び一般団体による合唱・合奏が行われた。
	13	第13回大正琴演奏会	11月6日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 38名 来場者数 100名	いわき大正琴の会	市内各地の公民館などのサークルやカルチャースクール等で大正琴を楽しんでいる会員が、練習の成果を披露し交流を深めた。
	14	第14回須賀川混声合唱団 ファミリーコンサート	11月13日	須賀川市文化センター	出演者数 50名 来場者数 545名	須賀川混声合唱団	「古閑裕而」楽曲や、ヴァイオリンとの共演で「ヴイヴァルディが見た日本の四季」混声合唱組曲「風のうた」などの演目で盛大に開催できた。
	15	白河謡曲会 素謡会	11月20日	白河市中央公民館	出演者数 27名 来場者数 20名	白河謡曲会	五社中で素謡を発表。
	16	アンサンブル・コンサート2022	11月23日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 41名 来場者数 57名	アンサンブル・ コンサート2022	市内の器楽愛好家団体による、弦・管・打楽器等によるアンサンブルの発表会。
	17	第33回 いわき市民謡の会発表会	11月27日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 100名 来場者数 230名	いわき市 民謡(うた)の会	民謡の発表
	18	会津シンフォニック・アンサンブル 第44回定期演奏会	11月27日	喜多方プラザ 文化センター	出演者数 74名 来場者数 555名	会津シンフォニック・ アンサンブル	1部は吹奏楽オリジナル曲、管弦楽曲アレンジ曲 2部では大河ドラマテーマ曲、はとぼっぼをモチーフにパロディ曲などを演奏し楽しんで頂いた。
	19	第43回福島市芸術文化祭主催行事 マーチング・フェスタ2022					
演	1	第34回 会津鶴ヶ城 薪能	9月23日	会津能楽堂	出演者数 40名 来場者数 160名	会津能楽会	会津若松市長の祝辞の後、観世流仕舞 巴など仕舞3番、能 羽衣では装束をまとった天女が優美な舞を披露した。
	2	令和4年度 秋の演能会	10月16日	会津能楽堂	出演者数 42名 来場者数 40名	会津能楽会	「難波」「兼平」など素謡5番、「岩船」「雲林院」の舞囃子2番、能では、クリーム色の長絹と緋色の大口の和泉式部が優美な舞を披露した。
	3	いわき市民文化祭演劇の部発表会	11月5日～ 11月6日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 50名 来場者数1000名	いわき市民文化祭演 劇の部実行委員会	演劇の上演

部門	番号	行事名	期日	会場	入場料等(円)	主催者	内容等
美術	1	第29回西郷村総合美術展	6月24日～ 6月26日	西郷村文化センター	出品展数 113点 来場者数 500名	西郷村総合美術展 実行委員会	村民、また村内に職を有する方々の素晴らしい作品が多く出品され西郷村の文化の高さを感じる美術展になった。
	2	第50回福島県写真クラブ合同例会	7月10日	アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)	出品者数 184名 来場者数 165名	福島県写真連盟	写真技術の向上・写真文化の振興を目的に開催。猪俣広視前民報写真報道部長を審査員に公開審査をし、最優秀クラブ賞等を表彰した。
	3	第18回福島県刻字協会展併催 高校生刻字作品展	8月19日～ 8月21日	コラッセふくしま	出品点数 212点 来場者数 300名	福島県刻字協会	刻字作家の作品69点、高校生の作品143点を展示した。今年度は「自然をテーマに」として企画、多くの作品を展示することができた。
	4	第46回 福島二紀展	8月21日～ 8月26日	アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)	出品者数 9名 来場者数 269名	二紀会福島県支部	多くの愛好者が来場され励ましの言葉に大きな励みとなった。また来場者と作家が作品の前で同じ目線で語る研究会は好評だった。
	5	第17回 会津美里町総合美術展	8月31日～ 9月7日	会津美里町 じげんホール	出品点数 121点 来場者数 1170名	会津美里町総合美術 展実行委員会	町に縁のある方の日本画・洋画・塑像・工芸美術・書の5部門の作品展示。中高生の作品を招待し次世代の美術文化を考える機会となった。
	6	第42回 喜多方水墨画展	9月2日～ 9月5日	喜多方市厚生会館	出品者数 7名 来場者数 240名	喜多方水墨会	共通画題を「紫陽花」「蔵」とし会員7名で64点の作品展示。コロナ感染防止のため受付時の対応に細心の注意を払い無事開催できた。
	7	福島ビエンナーレ2022 風月の芸術祭in白河	9月10日～ 10月9日	白河市内の史跡・歴史的建造物・商店街等	出品点数 75点 来場者数 9200名	風月の芸術祭 実行委員会	国際的なアーティストによる多種多様な現代アートの作品を市内の史跡名勝や歴史的建造物、店舗等に展示し市内を巡回しながら触れて頂いた。
	8	第51回書淳展・ 天皇家御指南 桑原翠邦顕彰展	9月15日～ 9月18日	ギャラリーアブドウ (会津若松市)	出品者数 50名 来場者数 800名	書淳会	天皇家御指南、桑原翠邦の名作と日本を代表する正統書の逸品を中心に役員・会員の秀作を展示し全国各地より来場者多く好評だった。
	9	第21回福島県勤労者写真展	9月15日～ 9月18日	とうほう・みんなの文化センター	出品者数 208名 来場者数 720名	福島県労働福祉 協議会	福島県勤労者美術展「写真の部」を労福協が引継ぎ、福島県、県写連、マスコミ各社等の後援を得、当団体創立60周年記念事業として開催。
	10	第33回日本画翔成会展	9月19日～ 9月22日	コラッセふくしま	出品者数 208名 来場者数 720名	日本画翔成会	日頃から研鑽を重ねた作品を見ていただく機会を得て感謝。感染防止に留意しながら33回目の翔成会展を途切れることなく終えた。
	11	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第56回 福島市民美術展覧会	10月6日～ 10月10日	アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)	出品点数 565点 来場者数 6145名	福島市	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の公募及びいけばなの出瓶による展覧会で、8日には呈茶席も実施。感染対策のため合評会は中止。
	12	第67回白河市総合美術展覧会	10月12日 10月16日	マイタウン白河	出品点数 132点 来場者数 800名	白河市総合美術展覧 会実行委員会	白河市及び県南地域の芸術文化の振興を図るため、絵画・彫塑工芸・書・写真の美術展を開催。優秀作品に市長賞・教育長賞等を授与。
	13	第59回 創美展	10月15日～ 10月19日	とうほう・みんなの文化センター	出品点数 116点 来場者数 1163名	日本画創美会	20歳から96歳までの会員の作成した日本画103点・生け花13点を展示。観覧者の説明要望には丁寧に対応し意見交換ができた。
	14	第59回会津美術協会展	10月19日～ 10月23日	会津若松市文化センター	出品者数 87名 来場者数 583名	会津美術協会	会場レイアウト、展示内容、ワークショップ等の工夫により、おもしろい、アートの魅力を感じたなどの声が寄せられ好評だった。
	15	第74回日本画彩心会展	10月20日～ 10月24日	アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)	出品者数 24名 来場者数 401名	日本画彩心会	日本画の持つ鮮やかな色彩や伝統技法など鑑賞していただき、描くことの楽しさを伝え、愛好者の拡大と一層の技術向上を図ることを目的に開催。
	16	いわき木彫クラブ木彫展	10月28日～ 10月30日	いわき市文化センター	出品者数 25名 来場者数 283名	いわき木彫クラブ	作品点数250点の作品を展示。「木」とのふれあいの本当の面白さを漸く分る、こんな思いで制作された作品をみて頂いた。
	17	第18回相馬市総合美術展	11月5日～ 11月7日	スポーツアリーナそうま	出品点数 345点 来場者数 1045名	相馬市総合美術展 運営委員会	高校生以上の一般の部と幼児・小学生の部に分かれ、絵画・工芸・書道・写真等多くの作品を展示。
	18	第17回 花見山フォトコンテスト作品展	10月22日～ 11月6日	福島銀行本店 1階特設ギャラリー	出品点数 35点 来場者数 500名	花見山フォトコンテス ト 実行委員会	「花見山の四季部門」と「福島ふるさと部門」の入賞作品を感染防止のため前半後半に分け展示。学生対象の「ユース部門」は通して展示。
	19	第61回中島村民文化祭	11月1日～ 11月4日	中島村生涯学習センター 輝ら里	出演者数 600名 来場者数 1100名	中島村文化団体連絡 協議会	村民の感染防止対策を取り、会員、一般、小中学生、老人会による作品展示。盆栽・陶芸・絵手紙、干支の絵付け等の作品に注目を集めた。
	20	第64回川俣町文化祭	11月3日～ 11月5日	川俣町中央公民館	出品者数 132名 来場者数 324名	川俣町	加盟団体が多くの分野の作品を展示。また個人展示や図書POPコンクール、フォトコンテスト展示等のコーナーを設け文化活動の魅力を発信。
	21	第48回 白河美術協会展	11月7日～ 11月13日	マイタウン白河	出品者数 20名 来場者数 360名	白河美術協会	会員が最新作、日本画13点・洋画38点・彫塑工芸9点を出品展示。今後も市民に潤いと安らぎを与えられるよう切磋琢磨し頑張っていく所存。

部門	番号	行事名	期日	会場	入場料等(円)	主催者	内容等
文 学	1	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第49回 福島市民短歌大会	6月5日	福島市市民会館	出品者数 98名 来場者数 98名	福島市	消毒等感染対策を行いながら時間を短縮して実施。作品の発表、批評することで、市内短歌愛好者の質的向上と親睦交流を図った。
	2	第4回芭蕉白河の関俳句賞	7月1日～ 9月15日表 彰式・句会1月 14日	公募	出句数 4959句 来場者数 90名 (表彰式・句会)	芭蕉白河の関俳句賞 実行委員会	一般の部を自由句「白河の四季折々」とテーマ句「碑」に分け全国から俳句を募集。また「未来」をテーマに海外からも募集、入賞作品を表彰した。
	3	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第35回 福島市民川柳大会	7月15日	誌上開催	出品者数 104名	福島市	新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度同様に誌上開催とした。
	4	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第50回 福島市民俳句大会	9月4日	キョウワグループ・ テルサホール	出品者数 154名 来場者数 154名	福島市	50回大会を記念し、題詠句も募集866句の投句があった。作品発表、批評をすることで、市内俳句愛好者の質的向上と親睦を図った。
	5	川俣町文学サークル 文集「むらさき30号発刊記念展」	9月30日～ 10月2日	川俣町中央公民館	出品点数 110点 来場者数 148名	川俣町文学サークル	文集「むらさき」創刊号から30号までの展示と設立から39年間一貫として続けてきた「文学散歩」の記録を写真パネルに編集して展示。
	6	第54回 いわき市民短歌大会	10月23日	誌上大会	出詠数 67首	いわき市短歌連盟	コロナ感染防止の視点から誌上大会とした。選者の伊藤正幸、水竹圭一氏により13名に賞を授与、選評を全出詠者に郵送した。
	7	第50回 いわき市民俳句大会	11月3日	いわき市文化センター	出句数 664句 来場者数 55名	いわき市俳句連盟	50回の記念の大会で投句者数130名、出席者55名、入賞21作品。俳誌「蘭」主宰高崎会長が「わが人生と俳句」を演題に講演を行った。
舞 踊	1	いわき市舞踊連盟 第14回舞踊発表会	10月2日	いわき芸術文化交流館 アリオス	出演者数 70名 来場者数 800名	いわき市舞踊連盟	コロナ禍の中での開催だったが、感染対策を各自の責任のもとに徹底し舞踊発表を楽しんでいただいた。
	2	ダンスムーブメント2022 第32回 レオキャッツダンススタジオ発表会	11月20日	喜多方プラザ 文化センター	出演者数 70名 来場者数 700名	レオキャッツダンス ムーブメントスタジオ	オープニング、ダンスムーブメント・理不尽な世界、和の世界、白虎、オリジナルダンス「キャッツ」どの作品も力作となり発表できた。
	3	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第43回「舞踊への招待」	11月20日	キョウワグループ・ テルサホール	出演者数 95名 来場者数 336名	福島市	福島市文連加盟の洋舞団体が練習成果を発表。昨年度は、来場者を出演団体の招待者に限定したが、制限なしで多くの観客が鑑賞した。
生 活	1	いわき市民文化祭市民茶会					新型コロナウイルス感染防止のため中止
	2	第61回 諸流いけばな展					新型コロナウイルス感染防止のため中止
総 合	1	第14回 白河市民芸能大会	7月9日	白河文化交流館コミネス	出演者数 200名 来場者数 100名	白河市文化団体連合会	白河市文化団体連合会加盟の20団体が、大正琴や唄、舞踊、太鼓など全30演目を披露した。
	2	第60回保原町文化祭					会場の保原体育館が新型コロナウイルスワクチン接種会場になったため中止
	3	第43回内郷地区総合文化祭	9月24日～ 25日 10月16日	内郷公民館 内郷コミュニティセン ター	出演・品数 235名 来場者数 800名	内郷地区文化協会	芸能の部と展示の部で4年ぶりの開催。参加サークルは生き生きとしたステージ披露。円滑な運営と熱気を感じた文化祭だった。
	4	第36回 相馬市芸能大会	9月25日	相馬市民会館	出演者数 77名 来場者数 250名	相馬市文化団体 連絡協議会	相馬市文連加入のうち、芸能部門約8団体が出演しコロナウイルス感染防止のため規模を縮小して実施。
	5	令和4年度伊達町総合文化祭	10月1日～ 11月6日	ふるさと会館・伊達体育 館・伊達中央交流館	出演・品数1388名 来場者数 1654名	伊達町文化団体連絡 協議会	山野草展示会・芸能発表会・囲碁・将棋大会・総合展示会を開催。芸能発表会は3年ぶりに有観客で実施。出品数1138点出演者250名。
	6	第3回 川俣町芸能祭	10月2日	川俣町中央公民館	出演団体数18団体 来場者数 82名	川俣町	詩吟、歌謡曲、フォークローレ、フラダンス等36曲を出演者175人で披露。マイクカバーの取換などの感染症対策を徹底して開催。
	7	令和4年度 須賀川市文化祭	10月2日～ 12月4日	須賀川市民交流センター 須賀川市文化センター 風流のはじめ館	出演団体数14団体 来場者数 5900名	須賀川市文化祭 実行委員会	社会教育関係団体の代表者が実行委員会を組織し発表部門11行事・展示部門3行事を開催した。
	8	第53回常磐地区文化祭	10月15日～ 16日	常磐公民館	出演者数 45名 来場者数 228名	常磐地区文化祭実行 委員会	文化協会加入団体と公民館活動団体及び地区の小中高の児童生徒による成果発表。
	9	第16回本宮市文化祭	10月15日～ 11月19日	中央公民館・白沢公民館・ サンライズもとみや・白沢 ふれあい文化ホール	出演団体数44団体 来場者数 3500名	本宮市文化団体 連絡協議会	10/15開会式の後、本宮会場と白沢会場それぞれ展示と芸能発表会を出品者・参加者220名、出演者190名の参加11/9閉会式で無事終了。
	10	第43回福島市芸術文化祭主催行事 第42回 福島市芸能祭	10月16日	キョウワグループ・ テルサホール	出演者数 150名 来場者数 300名	福島市	消毒等感染対策を行いながら時間を短縮して実施。市内の舞踊、歌謡、フラダンス等の愛好者が練習成果を発表した。

